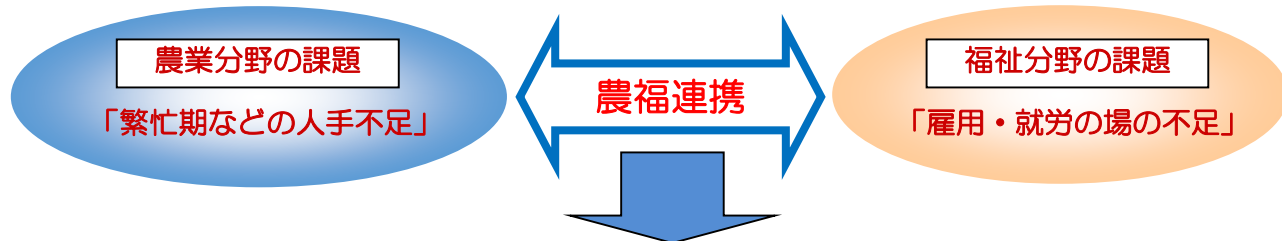


農福連携は、障害者が農業分野で働き、自信や生きがいを持って社会参画するとともに、担い手不足や高齢化が進む農業分野の課題解決を図り、地域の活性化、共生社会の推進に寄与する取り組みです。



農業分野と福祉分野の双方の課題解決を目指します。

横須賀市は、平成30年度に特例子会社のパーソルダイバース株式会社と「農業と福祉の連携推進に関する包括連携協定」を締結して農福連携を推進しています。

今回は令和5年度の2つの取り組み内容をご紹介します。

取り組み① 障害福祉サービス事業所等の農福連携体験会の開催

農福連携への理解と参加意欲を高めるため、令和5年11月から12月の間で4日間、市内の障害福祉サービス事業所等の利用者と支援者を対象に「農福連携体験会」を開催しました。この体験会には、2施設延べ15人が参加し、パーソルダイバース社の職員と共に市内農家の畑で農作業を体験しました。参加者からは「楽しかった」「またやりたい」などの声がありました。



▲蜜柑の摘果作業



▲落ち葉集め作業

取り組み② 障害のある中学生を対象とした農業就労体験の開催

障害のある中学生に農作業を通じて就労としての農業に理解を深めてもらい、職業選択の一つとして認識してもらうため、令和6年3月の2日間、市内農家の畑でパーソルダイバース社の職員の指導で農作業（除草、片付けなど）を体験しました。この体験会には、中学生2人が参加し、参加者からは「楽しかった」「将来は農業で働きたい」などの声がありました。



▲ハウス内での除草作業



▲集めた雑草はハウス外へ溜め置き

農福連携に関する農家の疑問を解決します

農福連携に関する農家が抱く主な疑問を横須賀総合高等学校の生徒が描くマンガでお答えします。別紙「マンガでわかる 農福連携!」をご覧ください。

農福連携に取り組む農家の声

市内には、農福連携に積極的に取り組んでいる農家があります。
今回ご紹介するのは、横須賀市津久井にある**小林農園の小林大晃さん**です。

Q1 どんな野菜・果物を作っていますか？

みかん、いちご、サツマイモ、キャベツ、かぼちゃ、メロンなどを作っています。最近、ネギも始めました。

Q2 農福連携に取り組んだきっかけは何ですか？

悩みだった人手不足の解消に向け、SNSを通じ農福連携に取り組む農家さんとお話したのがきっかけです。

Q3 現在取り組んでいる農福連携は何ですか

障害者雇用のパーソルダイバーズ株式会社のよこすか・みうら岬工房
をお願いし、週3回、障害のある社員と支援者の4人1組で農作業
(除草、定植、片付けのほか、みかんの収穫、袋詰めなど)をしています。

Q4 農福連携の良いところは何ですか

人手不足の解消につながる事が1番です。
障害者のメンバーも毎回変わるため、作業マニュアルの整備などが
今後の課題と考えています。

Q5 農福連携に関する今後の展望を教えてください

今月、農福連携のための会社を設立しました。今後はさらなる規模
拡大を図ってまいります。

Q6 他の農家へのメッセージ

やってみないとわからないことも多いので、ぜひ一度トライしてみてください。



▲小林大晃さん（小林農園）



▲障害者にみかんの収穫を指導

理解しよう福祉の世界 「障害の特性」って何？

農福連携への第一歩は、福祉の世界を知ることから始まります。今回は、主な障害についての「障害の特性」をお知らせします。

障害種別	障害の特性
身体障害	①視覚障害、②聴覚又は平衡機能の障害、③音声機能、言語機能又はそしゃく機能の障害、④肢体不自由、⑤内部障害の5つに分類される身体上の障害です。
知的障害	先天性や発達時期において脳に何らかの障害が生じたため、知的な発達の遅れと社会生活への適応のしにくさのある障害です。常に支援が必要な人から働いている人まで障害の程度や特性はさまざまです。
精神障害	統合失調症、そううつ病、てんかん等の様々な精神疾患により、日常生活や社会生活がしづらくなる障害です。外見からはわかりにくく、障害の特性もさまざまです。
発達障害	自閉症、アスペルガー症候群を含む広汎性発達障害（自閉スペクトラム症）、学習障害（LD）、注意欠如・多動症（ADHD）、その他これに類する脳機能の障害で一人一人特徴の現れ方が違います。

障害に対する配慮は種別や障害の特性により違ってきますが、知的障害、精神障害、発達障害の場合、おおそ次のような配慮をお願いします。

- 安心して話ができるようゆったりとした気持ちで話を聞いてください。
- 具体的な表現を使い、わかりやすい言葉を選んで話しをしてください。
- 調子が悪そうであれば、無理をさせずしっかりと休養をとれるような配慮をお願いします。
- 肯定的、具体的、視覚的な伝え方（図やイラストの活用など）の工夫をしてください。
- 具体的な手順を示したり、モデルを見せたり、体験練習をするなどの支援をお願いします。

詳しくは、横須賀市のHP「障害のある人を理解するためのガイドブック」をご覧ください。



お問い合わせ先：横須賀市民生局福祉こども部障害福祉課 電話046-822-9837
横須賀市経済部農水産業振興課 電話046-822-9395
(平日8:30～17:15)